

平成27年度 当初予算の概要について



平成27年2月20日

平成27年度当初予算の概要①

平成27年度当初予算の基本的な考え方

予算の編成にあたって何よりも大切にすることは、安定した市民の暮らしを支援し続けることであり、これまで取り組んできた事業や既に計画されている事業を着実に推し進め、まちづくりのスピードを停滞させることのないよう心掛けました。

平成27年度の方針

～合併10年目の節目の 暮らし支援継続予算～

- ▶ 継続的に取り組んできている事業の着実な推進
- ▶ 市長選挙を控えているため、新規事業は既に計画を公表した事業と新たな法律の施行に伴う事業に限定

平成27年度当初予算の概要②

一般会計

予算額 1,159億1千万円(H26:1,112億2千万円)

概 要

4大プロジェクトである産業・スポーツセンターを着工するとともに、新最終処分場・リサイクルセンター整備事業、名松線復旧事業が大詰めを迎えます。また、防災物流施設や道の駅津かわげの整備などにより、普通建設事業費が前年度比7.2%増と2年連続で増額となったほか、障害者総合支援法に係る給付費や生活保護費など扶助費の増額により、予算総額は前年度比4.2%増の1,159億1千万円となっています。

平成27年度当初予算の概要③

特別会計

予算額 1,058億3千万円(H26:1,147億3千万円)

概要

新たに市営浄化槽事業を創設するほか、国民健康保険事業、介護保険事業、後期高齢者医療事業では高齢社会の進行に伴い、社会保障関係経費が増加しますが、下水道事業が公営企業会計へ移行することに伴い、特別会計全体では前年度比7.8%減の1,058億3千万円となっています。

企業会計

予算額 306億9千万円(H26:128億1千万円)

概要

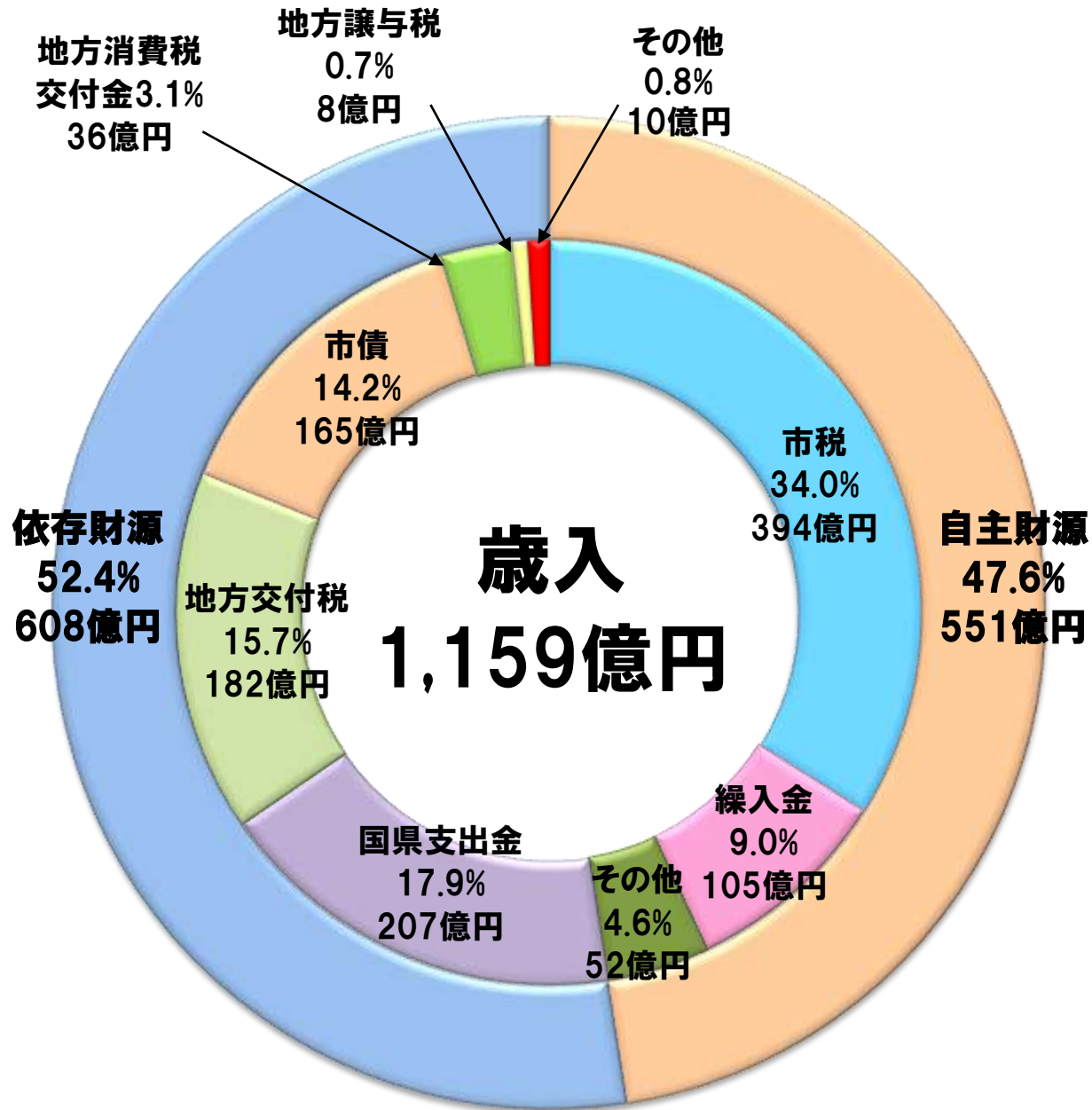
下水道事業の公営企業会計への移行や、それに伴い減価償却費や引当金など非現金支出が新たに発生したことにより、企業会計全体で前年度比139.7%増の306億円9千万円となっています。

平成27年度当初予算の概要④

単位:百万円

区分		平成26年度	平成27年度	増減額	増減率
一般会計		111,218	115,908	4,690	4.2%
特別会計	モーターボート競走事業	40,218	40,303	85	0.2%
	国民健康保険事業	30,426	30,792	366	1.2%
	介護保険事業	25,301	26,334	1,033	4.1%
	後期高齢者医療事業	5,743	5,762	19	0.3%
	市営浄化槽事業	—	418	418	皆増
	簡易水道事業	643	930	287	44.8%
	農業集落排水事業	567	549	△ 18	△3.1%
	土地区画整理事業	765	681	△ 84	△11.0%
	下水道事業	11,005	廃止(企業会計化)	△ 11,005	皆減
	住宅新築資金等貸付事業	65	61	△ 4	△6.2%
	棕本財産区	1	1	△ 0	△0.2%
(10会計)合計		114,734	105,831	△ 8,903	△7.8%
企業会計	水道事業(支出)	12,159	11,132	△ 1,027	△ 8.4%
	工業用水道事業(支出)	25	22	△ 3	△10.7%
	下水道事業(支出)	—	18,962	18,962	皆増
	駐車場事業(支出)	321	289	△ 32	△9.9%
	農業共済事業(支出)	300	286	△ 14	△4.8%
(5会計)合計		12,805	30,691	17,886	139.7%
合 計		238,757	252,430	13,673	5.7%
各会計相互間の繰入、繰出金等		15,545	16,467	922	5.9%
会計間の繰入・繰出等を除く純計		223,212	235,963	12,751	5.7%

平成27年度一般会計当初予算(歳入)



全体規模は
平成26年度当初予算と比較
して **47億円(4.2%)の増**

- ・税制改正や固定資産の評価替えの影響により市税が2億円減
- ・地方消費税交付金は7億円増
- ・4大プロジェクトや各種公共施設の整備により普通債は23億円増
- ・地方交付税は1億円増
- ・臨時財政対策債は5億円減
- ・繰入金は15億円増

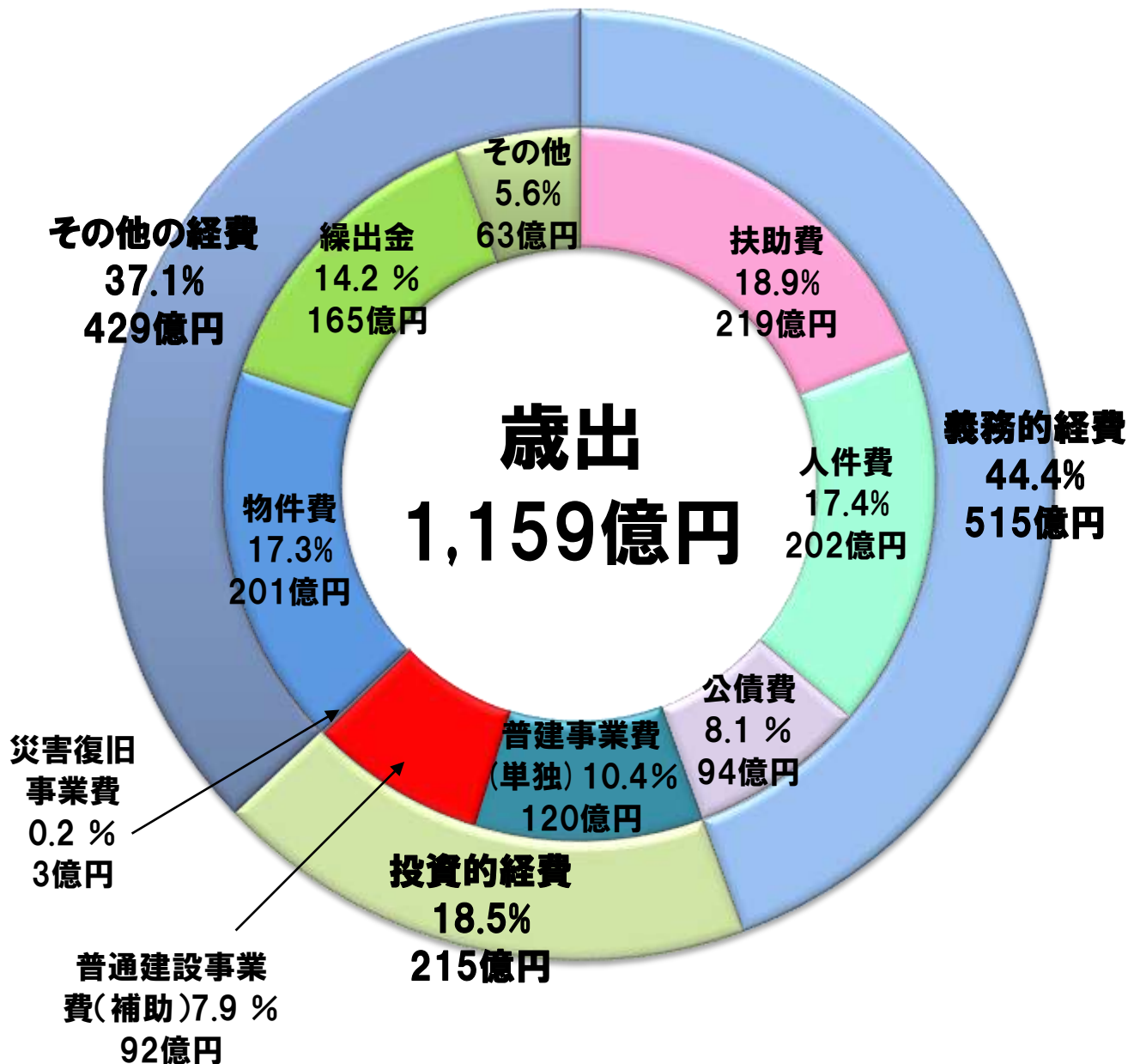
平成27年度一般会計当初予算(歳出)

平成7・8年度の減税補てん
債の償還が完了したことなど
から、公債費11億円の減を
見込む

その一方、

4大プロジェクトや各種公共
施設の整備に伴い普通建設
事業費は14億円の増

基幹情報システムの更新や
斎場管理運営費の増により
物件費が19億円の増



平成27年度当初予算の主要事業

3つの政策の推進を確かにする重点配分予算

命を守る

心をつなぐ

くらしを創る

命を守る

防災対策の強化

10億5,839万6千円(H26: 4億9,284万2千円)

- ・**新** 旧裁判所官舎跡地における津北工事事務所の移転整備事業
- ・**新** 木造住宅除却補助事業
- ・防災物流施設整備事業
- ・**新** 地震防災マップ作成事業
- ・**新** 北部地域漁港区域内海岸堤防整備事業
- ・(仮称)香良洲高台公園整備事業 他

初期救急医療の運営

1億5,683万5千円(H26: 1億3,636万1千円)

- ・応急診療所管理運営事業
- ・新たな応急診療所等の整備事業

消防力の強化

40億7,538万5千円(H26: 51億7,475万4千円)

- ・白山消防署一志分署整備事業
- ・高規格救急自動車(2台)の購入

二次救急医療の推進

2億6,839万2千円(H26: 2億6,990万5千円)

- ・二次救急医療体制事業
- ・救急・健康相談ダイヤル事業 他

空家等対策関係事業

1,554万4千円(皆増)

- ・**新** 空家等対策計画作成に向けた調査等

平成27年度当初予算の主要事業

3つの政策の推進を確かにする重点配分予算

命を守る

心をつなぐ

くらしを創る

地域課題への対応

1億7,700万円(H26:1億5,600万円)

・地域インフラ維持・補修事業

(仮称)下之川住民交流施設の整備

3億8,355万9千円(H26:2,407万1千円)

・本体建築工事、外構工事等の実施

ホームページによる行政情報等発信の充実

2,569万3千円(H26:417万9千円)

・ホームページ情報発信事業
(ホームページリニューアル)

自治会防犯灯のLED化への対応

(環境対策推進基金活用事業)

9,451万4千円(H26:1,687万5千円)

・防犯灯設置補助事業

生活困窮者自立支援制度の施行

3,592万6千円(皆増)

・**新** 生活困窮者自立支援法関係事業
(住居確保給付金支給、就労準備支援、家計相談支援、学習支援、自立相談支援などの実施)

心をつなぐ

平成27年度当初予算の主要事業

3つの政策の推進を確かにする重点配分予算

命を守る

心をつなぐ

くらしを創る

産業・スポーツセンターの整備

19億1,784万8千円(H26:19億2,826万7千円)

- ・本体建築工事、駐車場舗装工事等の実施

いつくしみの杜の管理運営

3億2,110万1千円(H26:27億8,167万5千円)

- ・PFI特定事業委託料、光熱水費等の管理運営経費等

4大プロジェクト事業

新最終処分場・リサイクルセンターの整備

75億7,669万円(H26:27億6,470万4千円)

- ・新最終処分場:建設工事、環境影響評価モニタリングの実施
- ・リサイクルセンター:建設工事の実施

名松線復旧・利活用事業への取り組み

2億1,028万8千円(H26:3億2,135万3千円)

- ・三重県、JR東海との連携による復旧工事の実施
- ・全線復旧後の利用促進に向けたPR、沿線ウォーク等の実施

平成27年度当初予算の主要事業

3つの政策の推進を確かにする重点配分予算

命を守る

心をつなぐ

くらしを創る

くらしを創る②

地籍調査事業の推進

3,142万8千円(H26:1,507万7千円)

- ・地籍調査実施計画の策定、地籍調査の推進

道の駅津かわげの整備

3億1,804万2千円(H26:3,653万6千円)

- ・本体建築、指定管理者の公募等

農山漁村活性化プロジェクト支援事業

3億4,481万6千円(皆増)

- ・**新** 高野尾地区に整備される地域交流促進施設等への支援

教育環境の充実・整備等

25億672万9千円(H26:25億9,580万2千円)

- ・小学校施設維持補修事業
(大規模改造、校舎増築等:南が丘小・戸木小、
トイレ洋式化、その他維持補修事業)
- ・中学校施設維持補修事業
(大規模改造、校舎増築等:一志中・美里中、
トイレ洋式化、その他維持補修事業)

市営浄化槽事業

4億1,750万7千円(皆増)

- ・**新** 市営浄化槽の設置、維持管理

計画的な財政運営の裏付け



公債費の抑制

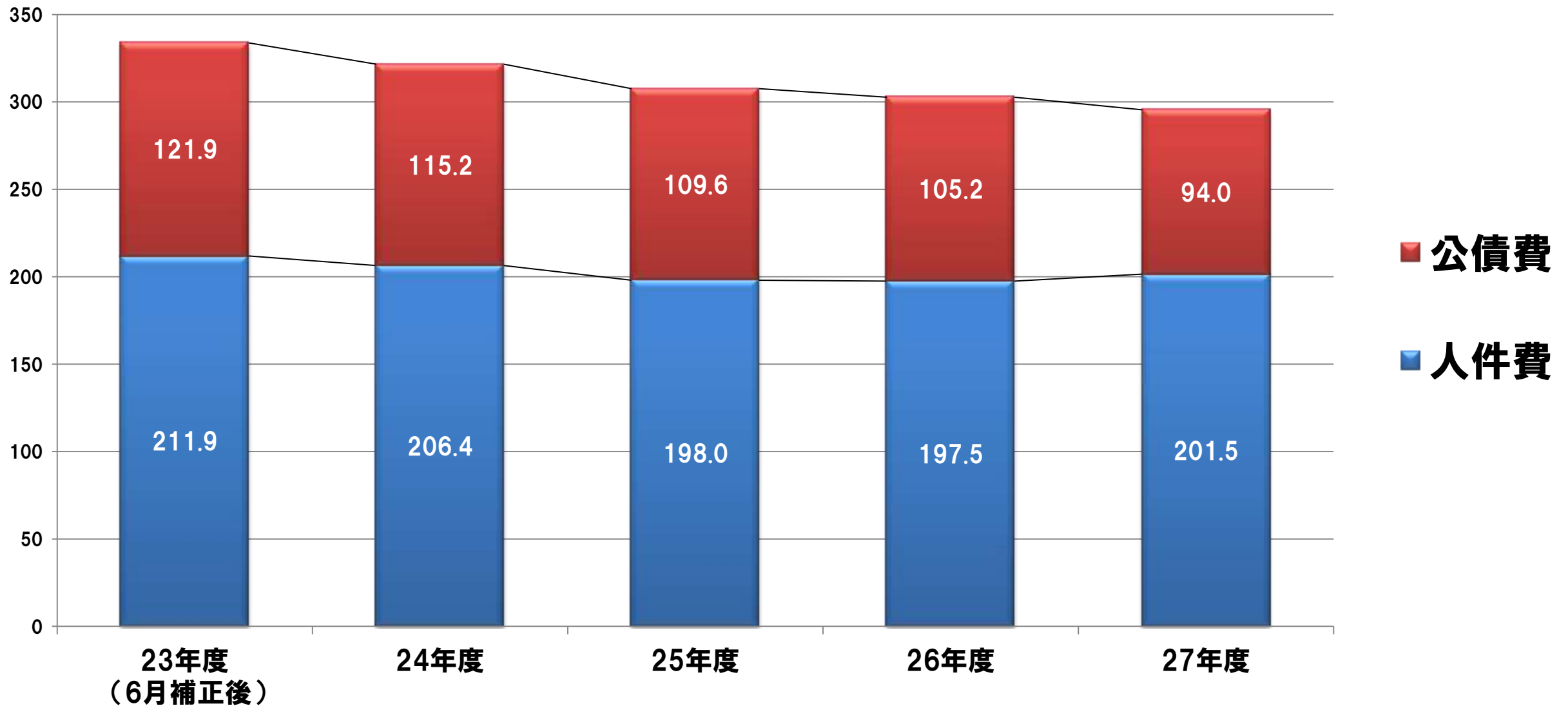
地方交付税に算入される
有利な市債の活用

一定水準での財政
調整基金の維持

平成27年度当初予算 ～財政運営～

人件費・公債費の推移(当初予算額)

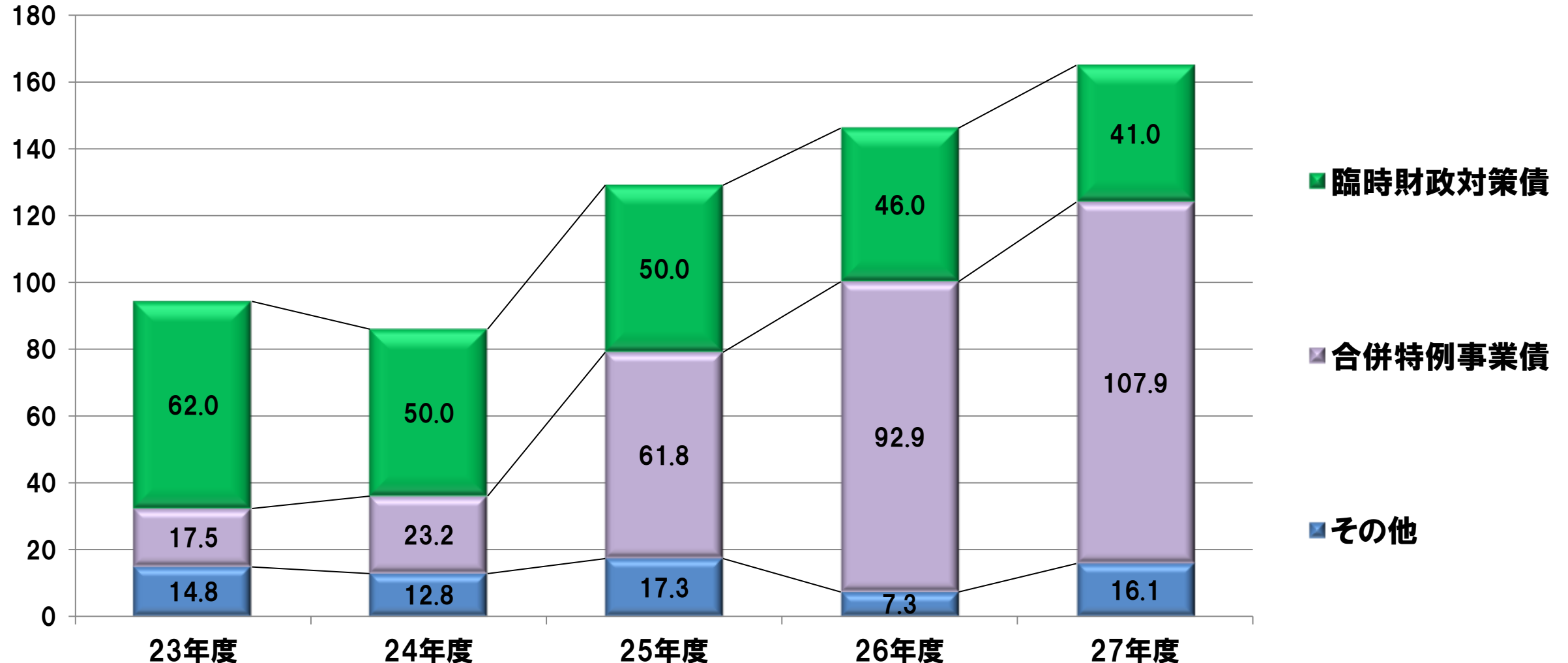
(単位:億円)



平成27年度当初予算 ～財政運営～

市債発行額の推移(当初予算額)

(単位:億円)



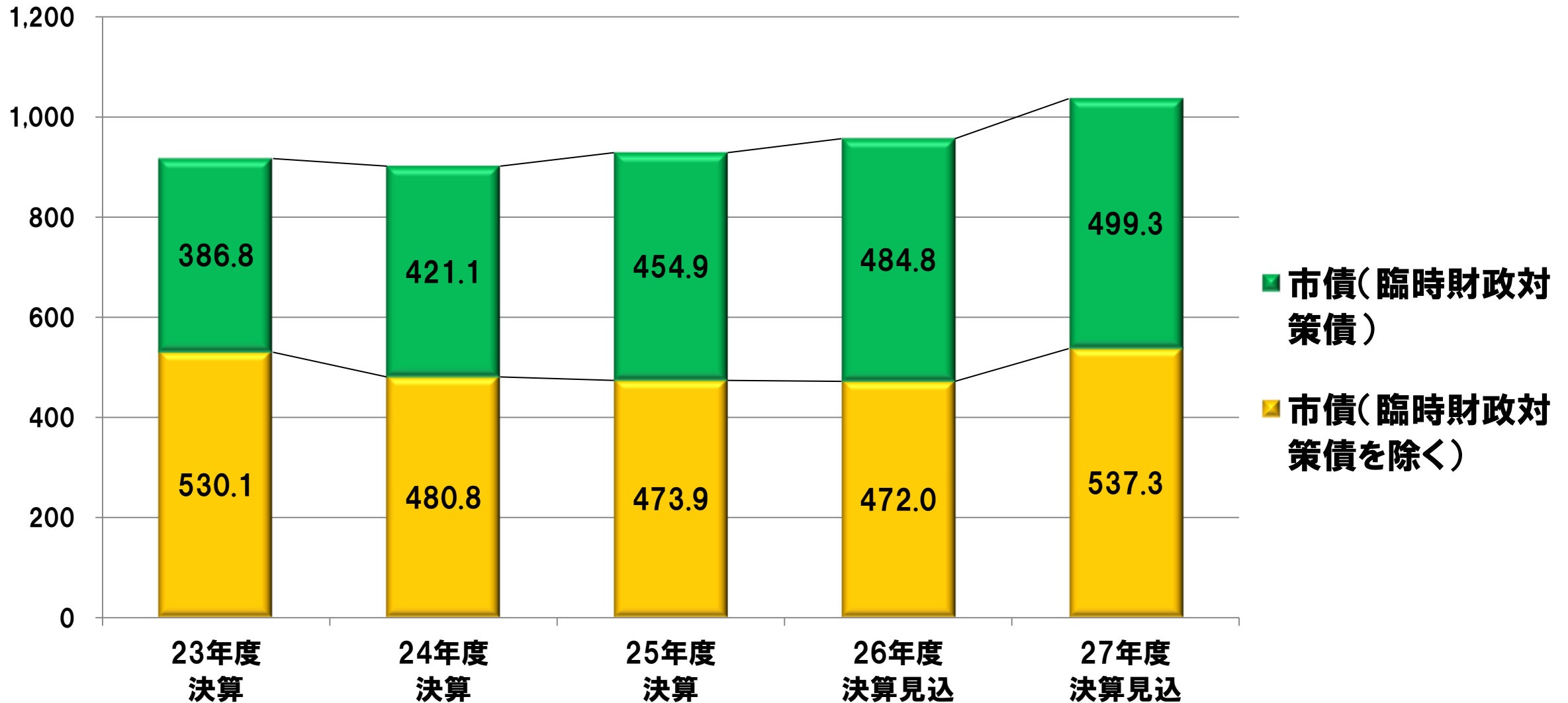
※臨時財政対策債:元利償還金の全額が地方交付税に算入される市債。実質的な地方交付税

※合併特例事業債:元利償還金の7割が後年度の地方交付税に算入される市債

平成27年度当初予算 ～財政運営～

市債残高見込の推移(年度末見込)

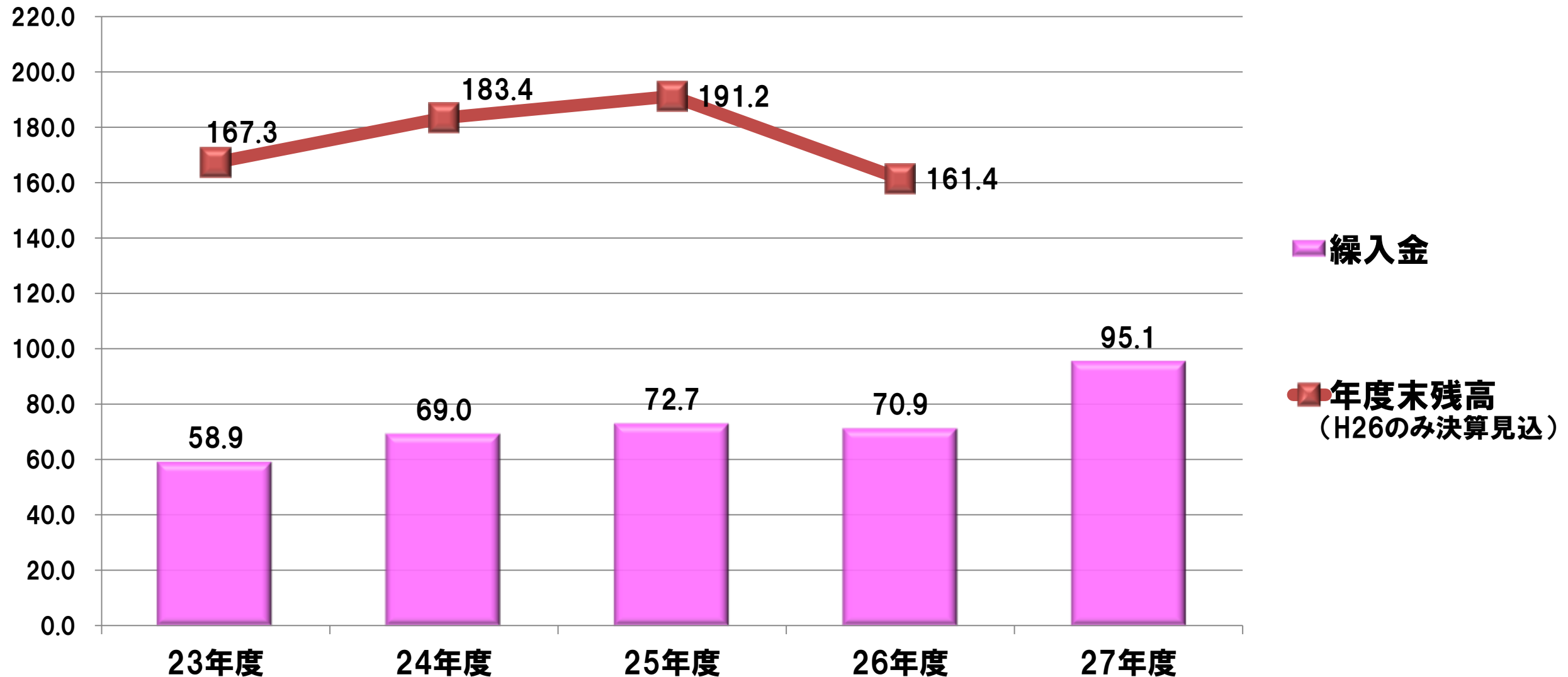
(単位:億円)



平成27年度当初予算 ～財政運営～

財政調整基金繰入金と年度末残高の推移

(単位:億円)



共同污水处理施設を津市に帰属

殿舟団地（平成29年3月）・豊が丘地区【団地】（平成30年3月）



写真／豊が丘地区【団地】污水处理施設

平成27年2月20日

公共下水道計画区域から外れた地域

団 地

共同汚水処理施設
大きい浄化槽

一定の基準を条件に管理組合等
からの申請に基づき、市へ帰属

個人の住宅や事業所など

小さい浄化槽

市営浄化槽事業で浄化槽を設置
以後の維持管理も市で実施

日々の維持管理費に加え、将来の施設改修に
備えた経費の積立てが不要

使用料金についても、下水道料金と同等であることから、
下水道と同等の公共サービスを受けることが可能

対象団地の状況

団地・污水处理施設の状況

団地名		豊が丘 地区 【団地】	殿舟 団地	ピュア タウン 安濃	片田 団地	泉ヶ丘 団地	善応寺 団地	グリーン ヒル久居	青葉台 団地	長谷山 ハイツ
世帯数 (H26.3.31)		2,319	565	138	898	865	72	547	356	234
人口 (H26.3.31)		6,535	1,336	400	2,225	1,950	145	1,855	1,195	567
計画面積 (ha)		94.6	22.9	7.1	42.9	31.9	3.5	24.1	31.9	12.0
処理場	施設完了 年度	S51	S48	S60	S52	S56	S51	H6	H16	S52
	計画処理 人口 (人)	16,000	2,300	870	3,200	5,100	400	4,740	4,750	1,200
	処理方式	標準 活性汚泥	長時間 ばっ気	長時間 ばっ気	長時間 ばっ気	長時間 ばっ気	長時間 ばっ気	長時間 ばっ気	膜分離 活性汚泥	長時間 ばっ気

※長谷山ハイツは平成13年に美里村に移管、現在、美里総合支所が維持管理を行っている、今後、他の団地と同様に改修し、帰属

帰属条件の概要

① 施設設備の改修

団地の共同汚水処理施設の機能診断調査に基づき、更新が必要とされた施設設備の改修を5年以内に実施。部分修繕ではなく取替修繕(更新)を基本とする

② 個人の宅内排水設備の誤接続等の改修

所有者は、誤接続の確認のための調査を実施し、誤接続が発見された時は、これを改修するものとする。また、宅内の雨水流入の恐れのある汚水枥について、雨水の流入がない構造であること

③ 個人の排水設備図等の提出

所有者は、宅内の排水設備図(配管図)を市へ提出

帰属に向けた覚書の交換

帰属対象となる市内の9団地(豊が丘地区【団地】、殿舟団地、ピュアタウン安濃、片田団地、泉ヶ丘団地、善応寺団地、グリーンヒル久居、青葉台団地、長谷山ハイツ)と、一定の基準を条件に帰属に向けた協議を実施

殿舟団地共用施設団地管理組合法人及び豊が丘団地管理組合法人との協議が整い、帰属の申出書が提出される

平成27年2月4日付けで覚書を交換

対象団地

豊が丘地区【団地】
殿舟団地

豊が丘団地管理組合法人
殿舟団地共用施設団地管理組合法人

帰属に向けた改修

覚書の交換により、管理組合は、帰属に向け施設の修繕や宅内排水設備の誤接続の改修等を開始



高圧受電設備



ばっ気装置

市は施設修繕のスピードアップ化を図るため、
補助金の上限額を倍増

補助率

事業費(修繕工事)の1/3

補助金の
上限額

これまで

500万円(年間1,500万円までの工事が可能)

覚書交換後

1,000万円(年間3,000万円までの工事が可能)

帰属に向けた今後のスケジュール(殿舟団地)

平成27年度	平成28年度	平成29年度
ばっ気装置改修工事 		
宅内排水設備 誤接続調査 		
	誤接続改修工事 	
	帰属に係る 協定締結 (平成29年3月予定)	平成29年4月から 市による維持管理 開始

帰属に向けた今後のスケジュール(豊が丘地区【団地】)

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
合併処理施設制御盤等 改修工事 			
	高圧受電設備 改修工事 		
宅内排水設備 誤接続調査 			
	誤接続改修工事 		
		帰属に係る協定締結 (平成30年3月予定)	平成30年4月から 市による維持管理開始